

地震保険研究 14

海外地震保険制度 ～ アイスランド 2007年調査～

平成20年3月

損害保険料率算出機構

はじめに

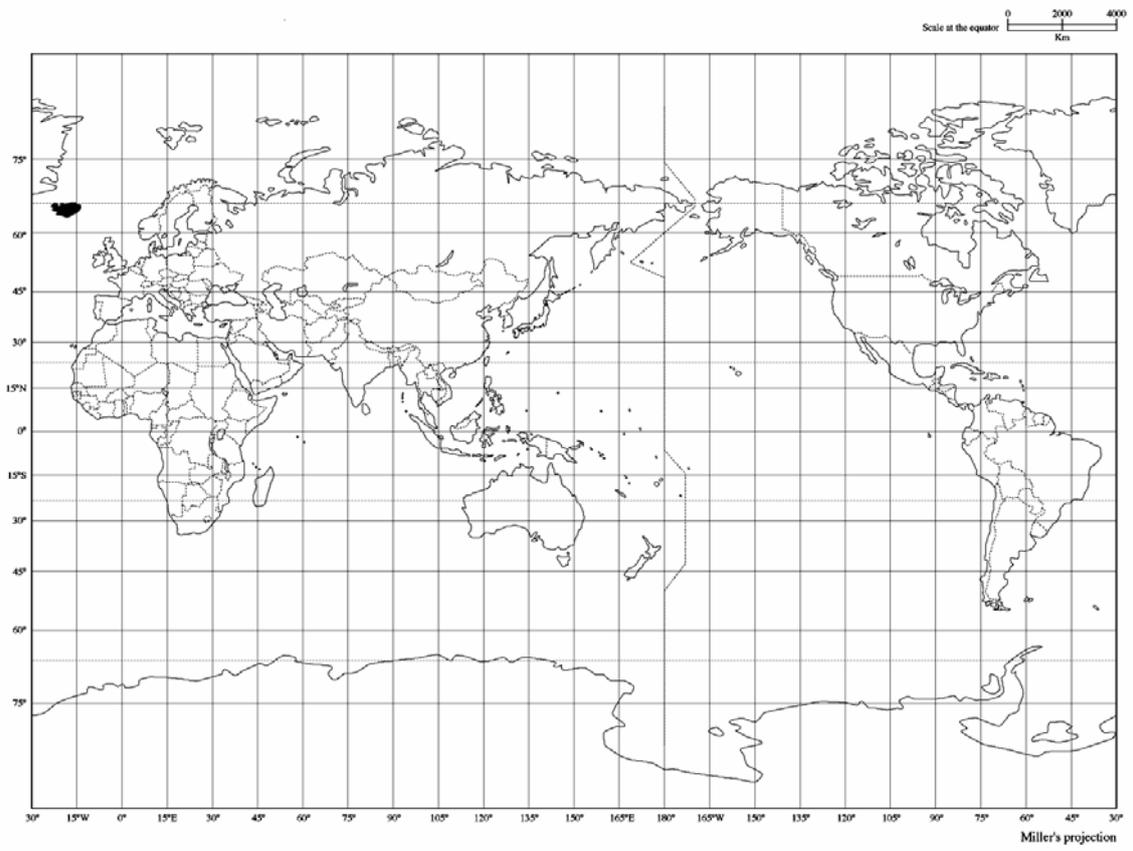
アイスランドは、北アメリカプレートとユーラシアプレートとの境界である大西洋中央海嶺上に位置し、同海嶺が地上に顔を出している貴重な場である。アイスランドの地上に表出している海嶺は、火山ないしはギャウまたはギャオと呼ばれる裂け目となっている。ギャオが広がることでアイスランド島は成長を続けており、毎年 2~3 cm の速度で東西に拡大している。また、アイスランドはホットスポットと中央海嶺が一致した場所でもあり、このような地理的な背景から、頻繁に噴火や地震等の自然災害が発生している。例えば、1900 年から 1990 年までに発生したマグニチュード 4 以上の地震は 650 件あり、2000 年にはマグニチュード 7 級の地震が 2 件発生した。

過去に発生した自然災害の中で、1973 年 1 月 23 日に発生したヘイマエイ火山噴火は、同国に大きな被害を及ぼし、自然災害保険制度発足の契機となった。ヘイマエイ火山が所在するヘイマエイ島は、アイスランドで最大の漁獲量を誇る天然港であり、当時約 5,200 人の住民が生活していた。この火山噴火は、死者こそ出さなかったものの、全島民に被害を及ぼし、損害総額は 2,400 万米ドルに及んだ。この災害に際し、アイスランド政府は、急遽、特別救援基金を設置して対応したが、将来の同様の事態に備えて、1975 年にアイスランド自然災害保険法が制定され、現在の自然災害保険制度が発足した。

アイスランド自然災害保険は、法律に基づいて設立されたアイスランド自然災害保険会社によって運営される。自然災害保険は、火災保険への自動付帯が義務付けられている。そもそも、アイスランドでは、居住用・商用ともに建造物に関しては火災保険への加入が義務であり、すなわち、建造物についてはすべて自然災害保険が付されていることになる。また、動産については火災保険への加入は義務でないが、火災保険に加入した場合には自然災害保険は自動付帯である。公共インフラ類については火災保険の加入は義務でないが、自然災害保険への加入は義務である。保険請求総額がアイスランド自然災害保険会社の資産の一定割合を上回らない限り、個別の請求に対する補償上限が無いことも、同国の自然災害保険の特徴である。

この報告書は、アイスランドの自然災害保険制度をまとめたものであり、この国の実情を理解してもらう意味で地理的環境、地震危険等の説明も併せて記載した。なお、本報告書は、2007 年 9 月~2008 年 3 月の調査に基づいたものである。

平成 20 年 3 月
損害保険料率算出機構



アイスランド

目 次

第1章 アイスランドの自然と社会	1
第2章 アイスランドの地震危険.....	9
第3章 アイスランドの損害保険.....	17
第4章 アイスランド自然災害保険制度の沿革と概要	27
第5章 アイスランド自然災害保険会社の組織概要	29
第6章 アイスランド自然災害保険の特徴と内容.....	35
第7章 まとめ	41
おわりに	43
参考資料	45
資料1 Iceland Catastrophe Insurance Act (Act No.55/1992)	
資料2 Regulations on Iceland Catastrophe Insurance (Regulation No.83/1993)	
資料3 アイスランドの地形的特徴・建造物等に関する写真	
資料4 日本とアイスランドの地震保険制度の概要比較	